

# 創 樹



題字は蒼心書道会会長 田中蘆雪さん

発行：社会福祉法人 創樹会  
福山六方学園

〒720-0832  
広島県福山市水呑町187番地  
TEL(084)956-0255  
FAX(084)956-5749  
fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp  
http://soujukai-fukuroku.or.jp



## 紡ぎつなぐこと 「はたらく」ということ

社会福祉法人 創樹会 福山六方学園 鞆の津ミュージアム 管理者 藤井 弘志

今年、3月31日までの通算25年余りをあゆみ苑成人寮で利用者支援を行ってきました。その25年余りは今から思い返してみると利用されているみなさんやご家族、スタッフと共に在った期間であったと思います。どなたかが、どこどこに旅行に行きたい、レストランで食べてみたいものがあるといわれるとどうしたら実現できるか利用者・職員共に考え取り組んできました。日々の暮らしを思い返してみるとみんなで雑巾や箒をもって掃除をし、洗濯物を取り込みたんで引き出しにしまう。できる者ができない者を手助けし協力し合って様々なことを行ってきました。措置から契約へと制度が変わり、利用者支援の中身も大きく変わり、利用者の皆さんがこんなことをしたいと言われてもなかなか実現できなくなっています。しかし、そんなことを言っているは何も始まらない。かなり以前のことになりますが、土・日曜日などに喫茶店などに出かけることができました。しかし、みんなが出かけられるわけではないので利用者と職員で園内での喫茶店を開く取り組みをしました。このことは、ただコーヒーを入れて飲むというのではなく様々な意味が含まれていました。金銭を持って出かけることの少ない利用者が実際にお金を使い、いくつかのメニューから自分の欲しいものを選び運ばれてくるのを待つという経験、スタッフとなった者は、お金を受け取り、注文をとり、お盆に載せて運びサービスを行う経験をしました。擬似的体験ではありましたが充実した時間がありました。その後、地域のフリーマーケットにも出店するようになり、「はたらく、サービスをする」という意識が利用者・スタッフに深まっていったということがありました。

今年度より就労継続支援B型、7月からは生活介護の事業を併せて行う多機能型事業所「さくら」の管理者として配属されました。ここに配属されてから日々「はたらく」ということをもっと考えてみたいと思う。それぞれが日々暮らしているその中に、「はたらく」という意味を見出すことができると思います。今後、鞆の津ミュージアムに隣接した場所にカフェや菓子工房をオープンし、「さくら」の事業所の一部となり働く場となります。また、今まで取り組んできた作業内容について見直しを行い、工賃向上が図れるよう取り組んでいきたいと考えています。



# 運動会・スポーツ大会

**児童園**の精鋭たちで東広島のスポーツ大会に参加しました。駆けっこで表彰台に立った子、惜しくも逃した子…様々でしたが、全員、全力プレー。かっこよかったぞ。よーし、次は球技大会でみんなの力を見せてやるのだ!!! その球技大会では、フライングディスクに参加。前日の猛特訓もむなしく、一回戦敗退…。「来年こそは…」と胸に誓い、会場を後にしました。スポーツを通じて、皆の素敵な表情と出会えて、元気をもらいました。また、5月12日に向丘中学校、5月27日に水呑小学校、6月3日に沼隈特別支援学校で運動会が開催されました。どの日も天候に恵まれ、暑いぐらいの陽気の中、みんな元気よく参加しました。かけっこ、リレー、応援合戦にダンス。みんなそれぞれ頑張ってきた練習の成果を発揮し、汗だくになりながらも清々しい笑顔を見せてくれていました。



**サポートセンター友の家**では、10名がソフトボールへ参加しました。当日は天気も良く絶好のソフトボール日和の中、試合に臨みました。2試合行い、1試合目は、ヒット・ホームランを打ち、全力で走り見事勝利することができました。2試合目は、点差が開きましたが最後まで諦めず戦いました。みなさん怪我もなく、日頃の就労とはまた違った達成感等、得られた試合となりました。



**あゆみ苑**は、男子棟利用者10名と女子棟利用者7名が、「円形ドッジ(男4、女4)・フライングディスク(男3、女3)・ブラウンゴルフ(男3)」の3種目に参加しました。それぞれの種目で、一生懸命になって奮闘していましたが、惜しくも、2回戦進出とまではいきませんでした。しかし、試合中には笑顔がみられたり、他の種目に出場している利用者さんの応援をしたりと、楽しんで参加されていました。



## tuburoku-box

今月から始った、スタッフのつぶやきリレー。tubu樹。仕事のこと、プライベートetc...つぶやいちゃいます。



### ○私って…

トップバッターということで何を書こうか迷いましたが…。まずは簡単に自己紹介をしたいと思います。生まれは福島県。大学進学を機に実家を出て岡山県へ。そして就職を機に福山にきました。学園に就職して8年目を迎えました。始めは方言がわからず、話す言葉もイントネーションも違い、とても戸惑ったことを覚えています。今ではもうすっかり福山人。里帰りしても話し言葉はこっちの言葉で、両親に「えっ?」と言われることが多くなりました。両親が共働きだったので、小さい頃からたくさんの人と関わるが多く、人と関わる仕事に就きたいなぁ…と漠然と思い描いていたように思います。

### ○出会いと笑顔を大切に…

ひとり暮らしを始めてから特に思ったことは、いかに「出会い」というものが大切かということです。人は一生のうちにおいて何人の人たちと出会うのでしょうか?そして、何人の人たちと今でも交流がありますか?この仕事に就いてから出会った人たちは…という、利用者の皆さん、ご家族の皆さん、職員の皆さん、そして各関係機関の皆さん…とたくさんの人たち。そして、今でも出会いは増え続けています。就職した頃に言われた言葉があります。「鈴木さんって笑顔がいいから、いつまでも笑顔を大切にね」と。ある先輩職員から言われた一言です。忙しさから笑顔を忘れがちなることもありますが…。その笑顔を取り戻してくれるのが、利用者の皆さんです。幼児さんの受け入れも始まり、毎日忙しい日々が続いていますが、「おはようございます!」「こんにちは!」と笑顔で通って来る子どもたちの姿を見ると、自然と笑顔がこぼれます。子どもたちって大人の姿を本当によく見ていますよね。私が元気がない顔をしていると、いつも以上にたくさん話しかけてくれたり、わざとふざけてみたり…と気遣ってくれる子どもたちもいます。今の仕事を続けていられるのも、子どもたちの笑顔がたくさん見たいという思いからかもしれません。こうしてたくさんのお出会いの中で、たくさんのお笑顔を見続けていけるよう、自分自身も前向きに、笑顔を大切に過ごしていきたいと思っています。「一期一会」。一つひとつの出会いを大切に過ごしてみませんか?

(ONE-すてっぷ 兼田奈津美)



鞆の津ミュージアム  
T O M O N O T S U M U S E U M

# グランドオープン



5月26日のオープン当日は天候にも恵まれ、鞆子ども園での式典では子どもたちによる司会や、樽太鼓の演奏もあり、とても賑やかな会となりました。

ミュージアムでは7月22日までグランドオープン記念企画展「リサイクルリサイクル-幸せ時間の共有-」展を開催しました。鞆の街で集めた廃材を使用した作品や、鞆のお母さん方の「おかんアート」など、身近な素材を再構成した展示コーナーでは、作品の帽子を被って写真を撮ったり、何度も足を運びリサイクルブランコに乗る子もおり、小さい子から大人までも懐かしく、楽しんでいただけたかと思います。

また、5月26日から5月28日までの3日間、鞆の街で「ぶらり、鞆の浦。アール・ブリュットって何だ？」展を開催し、7か所の施設やカフェに作品を展示しました。こ



ちらもスタンプラリー形式の観賞方法がとても好評でした。

会期中にはトークイベントやワークショップを行い、帽子制作では作った帽子を被って鞆の街でチンドン屋パレードを行いました。観光客も巻き込んだ、盛大なパレードになりました。

ミュージアムでは今後の企画展やイベントを計画しています。これからもここでしかできない、特色を生かした企画展を行います。

そして、ミュージアム隣の蔵には8月にカフェがオープン予定です。まずは暑い夏に涼を誘うドリンクメニューから販売します。ミュージアムとカフェの今後の活動に是非ご注目ください。

最後になりましたが、鞆の津ミュージアムの開館に際し、ご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。今後ともミュージアムの活動をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。



# ホームひこやま 改装

6月上旬に、サポートセンター友の家のホームの1つである、ホームひこやまの浴室、トイレを改装しました。浴槽・トイレときれいになり、バリアフリー化され、みなさんからも喜びの声が上がっています。



## ありがとうございました(2012.4.1~2012.7.31)

※お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)  
※保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。



—〇会のみなさん

## 今後の予定

2012

8月は、学園にとっても命の大切さについて思いをはせる「いのちの日(8/11)」がある月です。あらためて命の大切さについて考えるとともに、地球温暖化、大震災後の電力不足が懸念されていますので、できる限りの節電に努めることは基より、利用者のみなさんが安全に快適に過ごしていただけるよう、職員一同、心がけて参りたいと思っています。

あ と が き

# 4/29 第48回創樹祭

春の暖かさを感じられる4月29日、学園に於いて『第48回創樹祭』が開催されました。

利用者さんや保護者の皆様、地域の方々がたくさん来園され、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。たこ焼き、焼きそば、フランクフルトなどの屋台が並び、皆さん美味しく召食されました。ステージでは歌謡ショーにマジック、ダンスにビンゴゲームなどが行われ、観客の皆様の手拍子や、声援が飛び交いとても楽しいステージになりました。

また、今回は初めて「ポニー」を呼び、触れ合いや餌やり、乗馬体験を企画しました。初めてのポニーに恐る恐る手を伸ばして触ってみたり、餌をあげたり、嬉しそうに乗馬体験したり多くの方がポニーと触れ合いを楽しまれました。

お天気にも恵まれ、絶好のお祭り日和に行われた『第48回創樹祭』は大成功でした！！  
(第48回創樹祭実行委員会)



# 第3回さくらまつり

## 2012年4月1日『第3回さくらまつり』開催のお礼

さくらまつり開催につきまして今年も皆様にご尽力頂きましたこと深く感謝致します。

昨年は「福山六方学園利用者さんの素晴らしいアート作品を多くの方にみていただきたい」「生活の場での利用者さんと職員さんの家族のような信頼関係に触れていただきたい」と思いました。その気持ちは変わりませんが、今年は「垣根のないアート作品の中、同じ空間で自分らしく過ごして欲しい」と思いながらの『さくらまつり』でした。

そこで、昨年に引き続きアート作品の展示をお願いしましたが、今回は昨年とはメンバーが変わり、また素敵な味のある陶芸作品を中心に展示されていました。

その会場の真ん中で「アート作品を感じながら色でアートをしたい」と、子供から大人までが絵の具の色で遊べる様に『いるあそび』のコーナーを作りました。

広場では、利用者さんに喜んで貰えたら、とプロレスラーの方々も遊びに来てくれました。ステージでは、即興で太鼓とジャンベの掛け合い、フラダンスミニ教室、歌やヴァイオリン、ウクレレのステージなど、好きな事を楽しんでされている方々の楽しい時間にも触れる事が出来ました。手作り作品販売ブースは、こだわりのある製品をたくさん並べてくれました。

一日過ごしていかれる中で、義務感ではなく、好きだから楽しいから出来る事がたくさんあると実感できた方も多く、「この場所『福山六方学園』に来て良かった」「自分らしく生きるよ」などの声が寄せられました。

たくさんの感動を今回もいただきましたが、ここにいる誰一人が欠けても実現しなかった事です。福山六方学園利用者の皆様、園長先生はじめ職員の皆様、さくらまつりスタッフのみんな、多くの方とのつながりが、訪れた皆さんの温かい声になったのだと思います。ありがとうございました。

(さくらまつり実行委員会 後藤・藤川・山田)

# 第59回福山市美術展覧会

## さわらび&あゆみ苑成人寮

あゆみ苑成人寮の3グループから8点の作品を応募し、彫刻部門で2名2点の作品が入選しました。さわらびからは、8点応募して見事8点全て入選することができました。去年の4月頃から描き始めて一年がかりで作った作品や、何回も試行錯誤して作った作品など色々な思いを一枚の画用紙に描かれた作品が入選できて利用者の方々みんな大喜びされました。今回の入選を糧に個性あふれる輝く作品を作っていこうと思います。「第59回福山市美術展覧会」において、今後も、楽しく日々の創作活動に励みたいと思います。

